

2013(仏暦2556)年4月号(第85号)

# 万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行

浄土真宗本願寺派

万行寺 山崎信充

〒385-0003

長野県佐久市下平尾461-1

電話 0267-67-2460



## ■住職法話

一宗の繁昌と申すは

## ■仏事のイロハ

礼拝にはお念珠を

## ■住職 子育て日記

## ■編集後記

## Photo

暖かい日が続いたところに、季節外れの積雪があり、農作物に大きな被害がありました。花が咲き始めた桃にも影響があるようで心配です。でも、ピンク色の可憐な花は和ませてくれます。

# 住職 法話

## 一宗の繁昌と申すは

先日、長野市にある同じ浄土真宗本願寺派のお寺の本堂と会館の改修落成法要がありました。私もお参りさせて頂きました。本堂の老朽化に伴って、全面的な改修をされました。住職をはじめ門信徒の方々のご苦勞をあらためて感じさせて頂いた中で、慶びに満ちた法要のご縁をいただきました。

また、この法要は親鸞聖人七五〇回大遠忌法要としても勤められました。お勤めの中の表 白(導師の言葉)には、スローガンにも使われている『世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ』の親鸞さまのお言葉を受けながら、本願念仏の教

えがますます広く後世まで伝わりますよう、この度の改修をもつて一人ひとりが心を新たにするといい言葉をいただきました。新しい本堂の完成を機に、単に人が多く集まっ

て欲しいと願うものではなく、念仏の教えを広く後世に伝えていって欲しいという住職の願いでもあります。そして、代々住職をはじめとした先人方々からの願いでもあると深く味わわせていただきました。本願寺第八代の蓮如さまは、

とも、人の信を取るが、一宗の繁昌に候。

とお示しになりました。繁昌とは、一般にお店などが盛んなことに使われますが、これは宗教の繁昌という表現です。お寺に人寄せは大切なことですが、人が多く集まったことが目的ではなく、念仏の教えを通して一人でも信心を得られるのかどうか、一宗の繁昌がががかかっている

と仰られるのです。ところで、本願寺のご門主が、来年をもつて職をご退任されることを、先日、表明されました。ご長男に職を継承され、本願寺第二十五代門主となられます。ご門主は六十

七歳、ご長男は三十五歳になります。これを『法統継承』と言いますが、先代のご門主の時も同じ年頃で、今のご門主に法統継承されました。自ら職を退き、きちんと身をもつて後に職を継承していくという姿こそ、念仏の教えを後々に伝えていく礎だと感じます。

本堂の改修、そして職の継承というように、今の仏教寺院が抱える大事は、後世に何を伝えていくかを問われています。お寺に、「人が大勢来て欲しい…」ではなく、「南無阿弥陀仏」というお念仏に満ちた繁昌を目指したいものです。



# 仏事のイロハ

## 礼拝にはお念珠を

如来さまに礼拝

する時に欠かせないのが念珠です。

珠数（あるいは数珠）とも言います

が、浄土真宗では「念珠」という言い方が多く用いられています。

ある時、門徒さんから「お念珠の珠の数はいくつあるのですか」と、質問されたことがあります。珠の数に何か意味があると思つての問いでしょう。

そこで、私は「元来、珠の数は百八つの煩惱を断ずることを表す」と聞いていたものですから、とっさに「百八個を基本にして、その約数である五十四、二十七、十八個といった数でしょう」と答えま

した。

しかし、後で自分の持つている念珠を数えると十九個で、どう割つても百八の約数にはなりません。一般的に使われる単念珠では、数に規定があるわけがなく、あまりこだわらない方がよさそうです。手の大きさに合わせて念珠の輪が作られますから、材料となる珠によつてその数も自ずと異なつてくるのです。

浄土真宗では、念珠を、煩惱を滅するための道具として用いるのではなく、また、読経や念仏の回数数を数えるために使うものでもありません。た

だ、如来さまに合掌礼拝する時の礼儀として用いているのです。

念珠の持ち方と合掌礼拝の作法を述べますと――

①念珠を持つ時は、常に房を下にたらし、左手で持つようにします。合掌の時は両手にかけて、親指で軽くおさえます。珠をこすり合わせて音を出したり、手のひらの中ににぎりしめたりはしません。

②合掌は、胸の前で両手を合わせ、のびした指先が上体と四十五度の方向にぐるうにします。そしてお念仏を称えます。最近では、声に出してお念仏を称える方が少なくなつてきたようです。黙念という作法はありません。合掌する時は必ず声に出してお念仏申して下さい。

③礼拝は、念珠をかけて合



合掌時の念珠のかけ方

掌したその姿勢で上体を四十五度に傾けて、おもむろに元の姿勢に戻します。

なお、念珠の房は、男性が「ひも房」、女性が「きり房」を用います（写真参照）。

また、念珠は大切な法具ですから、お経の本（聖典）と同様、畳や床に直接置いたり、投げたりはしないように……。さらに、法要などに参拝す



男性用念珠

女性用念珠

る折には、念珠とともに、門徒式章をかけるよう心がけて下さい。

ポイント

●念珠は左手に持つ。

●合掌の時は、声に出して念仏を称える。

●念珠は直接、畳に置かない。

「仏事のイロハ」末本弘然著、本願寺出版社刊より」

「任職談」房に関しては、一般論として考えて下さい。男性でも、「きり房」をされていることが多いようです。今後、修理やお買い求めの際は、お考え下さい。門徒式章とは、僧侶が首からかける袈裟と同様の、門徒の方がお参りの時にかけるものです。ご希望があるようでしたらお寺までご相談下さい。

～任職 子育て日記～

おかげさまで、娘は1歳4ヶ月を過ぎました。毎日、元気に走り回っています。暖かくなり、外でも歩くようになり、ますます目が離せません。先日は、近くの佐久平PAのパラダに行ってきました。花壇の花に興味をもったようで、何でも楽しい発見の毎日です。



子育てに追われている日々の苦勞は、夫婦で不妊治療を経験し、子が授かりたいと願いつつ続けた日々の苦勞を思えば…というように、苦しみを比較してしまう自分にハッと気づかざれることがあります。お釈迦さまは、人はあらゆる苦しみから逃れることは出来ないと四苦八苦を説かれました。苦しみを乗り越えると、また次の苦しみがやってくるものです。ですから、苦しみの度合いを人と比べてみたりすることは避けたいものです。べるところに、怒りや嫉みといった、また違った苦しみを生むことになります。

娘の成長を見ながら、お釈迦さまのお言葉を思い起こす一時です。

編集後記

「任職法話」にもふれましたが、ご門主が退任を表明されました。来年の六月五日をもって退任されます。

◆先代のご門主は、四十年前の親鸞聖人ご誕生八〇〇年と立教開宗七五〇年の法要を終えたところで退任をされました。この度は、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要を終えられての発表となりました。「新たな歩みを始めるよい時期」とお言葉述べられました。◆政界や企業では、退き際が肝心と言われます。お寺も終身にこだわる時代ではなくなっています。

